

2024年8月25日  
8月第四主日礼拝式



# 「御名を掲げて」

(詩篇148:13)

み名をかかげて あなたをたたえます  
救いのために あなたは来られた  
救いのみちを 与(あた)えに  
天(てん)よりくだり 来られた  
十字架により いのち あがない  
よみがえられた

# 19 ホザナ

1. ホザナ ホザナ ホザナ たからかに  
ホザナ ホザナ ホザナ たからかに  
主よあなたのみ名あがめます  
さんびにみたされて ホザナたからかに
2. ホザナ ホザナ ホザナ 主のみ名を  
ホザナ ホザナ ホザナ 主のみ名を  
ほめたたえようこころみたされ  
さんびにみちあふれ ホザナ主のみ名を

新聖歌429番 「地の塵(ちり)に等しかり」

- 1 地の塵(ちり)に等しかり 何一つ取りえなし  
今あるはただ主の 愛に生くるわれぞ  
\* 御救いを受けし 罪人に過ぎず  
されどわれ 人に伝えん 恵み深きイエスを
- 2 罪の世(よ)を望みなく 幾年(いくとせ)か迷いしを  
ただ君が愛もて 救いませるわれぞ \* (くりかえし)
- 3 もし恵み無(な)かりせば はや滅び果てしならん  
あるはただ罪のみ 功績(いさおし)なきわれぞ \*
- 4 されば世(よ)にある限り 主を歌い 主を伝えん  
滅びよりいのちに 移されたるわれは \*

アーメン

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌267番 「 渴(かわ)けるわれは 上より賜(たま)う 」

1 渴(かわ)けるわれは 上よりたまう

命の水を 慕(した)い求む なが御誓(みちか)いにかたく立てば イエスよ願いに こたえたまえ

\* イエスの愛 イエスの愛 海のごとく よせきたる  
栄えの波 われをつつみ わが喜び かぎりなし

2 恵みを降らす 手ほどの雲(くも)

はやも彼方(かなた)に 見えはじめぬ

いよいよあつく われ祈らば

イエスよただちに 降らせたまえ \* (くりかえし)

【次】

新聖歌267番 「 渴(かわ)けるわれは 上より賜(たま)う 」

3 救いの川の あふるるまで

恵みの雨は 降りしきりぬ 罪とけがれを

洗い流し われを恵みに 全(また)くひたす

\* イエスの愛 イエスの愛 海のごとく よせきたる

栄えの波 われをつつみ わが喜び かぎりなし

4 救いきよむる 流れは今

見よ ちからもて 押し寄せ来(き)ぬ

みわざをたたえ さけぶ声は

天(あめ)にも地にも ひびきわたる \* (くりかえし)

アーメン

# 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン